

ながしま 議会だより

Nagashima town Assembly News

№.39

6月定例会 〈H27.6.12～6.23〉

太陽光による
長島元気発電所を建設中
春木が丘3haの広大な敷地に
8260枚の太陽光発電のパネルを設置する計画

定例会で決まったこと ②

町政を問う（一般質問） ⑥

常任委員会の審査報告 ⑩

研修報告 ⑫

2320万2千円追加

総額106億3075万8千円



鷹巣本町ふれあいパーク建設予定地を確認する建設経済文教常任委員会

平成27年第2回長島町議会定例会は、6月12日から23日までの12日間の会期で開かれた。

平成27年度の一般会計補正予算（2320万2千円追加、総額106億3075万8千円）や特別会計補正予算、長島町副町長の定数を定める条例の一部改正など議案8件、承認2件を可決、請願1件、陳情2件を採択、陳情1件を不採択とした。

このほか、副町長の選任について追加提案され、議会は同意。

また、議員発議により長島町議会会議規則の一部改正がなされた。

平成27年度の一般会計予算に

平成27年度の一般会計予算のほか、介護保険、簡易水道の2特別会計補正予算を原案可決した。

今回、計上された予算の主な事業は次のとおり。

主な事業

自治公民館等整備事業（広野集落）	7,000 千円
地方創生事業	13,298 千円
地域おこし協力隊事業	8,822 千円
消防施設維持管理費（防火水槽の金網をコンクリート蓋へ）	7,344 千円
夢追いふるさと長島景観寄附事業	22,933 千円
町政施行 10 周年記念事業（離島振興一般経費）	3,000 千円
獅子島交流イベント等委託料（特定離島ふるさとおこし推進事業）	6,500 千円
戦略産品海上輸送費補助（離島活性化交付金事業）	3,819 千円
医療ケア及び介護サービス助成（障害者医療費）	3,337 千円
火ノ浦地区藻場造成事業（漁場環境保全創造推進事業費）	15,000 千円
ヒラメ放流事業補助（特定離島ふるさとおこし推進事業）	4,900 千円
総合加工場機器整備（6次産業化ネットワーク活動整備交付金）	10,872 千円
国出漁港整備事業（特定離島ふるさとおこし推進事業）	10,104 千円
三船、蔵之元漁港（水産基盤ストックマネジメント事業）	20,590 千円
太陽の里ピクニック広場改修事業	8,000 千円
鷹巣本町ふれあいパーク事業（ぐるっとフラワーロード事業）	26,560 千円
船津平末国調登記資料業務作成委託他	11,595 千円
浦底・伊唐・牧・五郎地地区鳥獣被害防止施設補助	21,900 千円
農業機械の整備等の経費支援（6地区8件）	10,155 千円
七郎山線林道改良事業（特定離島ふるさとおこし推進事業）	10,828 千円
城川内地区土砂崩壊防止事業	10,001 千円
片側樹園地モノレール敷設（特定離島ふるさとおこし推進事業）	22,787 千円
平尾中南地区農道舗装事業（農地耕作条件改善事業）	5,000 千円
中山間地域総合整備事業の測量設計委託費	20,000 千円
鷹巣地区県単急傾斜地崩壊対策事業	5,000 千円
御所ノ浦・片側地区急傾斜地崩壊対策事業	14,644 千円
獅子島港御所ノ浦・立石地区舗装整備事業	19,744 千円
鷹巣小学校屋内運動場改修事業	20,106 千円
国民文化祭市町村事業（駐車場整備費ほか）	2,100 千円
※ このほか、社会資本整備総合交付金の減額内示に伴い、事業費の減額措置がなされた。	



改修されるピクニック広場



金網蓋式の防火水槽



吊り天井の鷹巣小学校体育館

報告

歳出予算の繰越

平成26年度長島町一般会計と簡易水道特別会計の繰越明許費に係る歳出予算（防災行政無線整備事業Ⅱ3億7970万6千円、町道整備事業Ⅱ3億4920万円、県道改良工事に伴う布設替事業等Ⅱ480万円など）の繰越について報告された。

※繰越明許費Ⅱ歳出予算の経費のうち、その性質上または予算成立後の事由により当該年度内に支出を終わらない見込みがあるものについて、予算の定めるところにより翌年度に限り繰り越して使用することができるもの。

条例

副町長を2人体制に

「長島町副町長の定数を定める条例の一部を改正する条例について」現在の副町長の定数を1人から2人とするための提案があり、可決された。これは、地方創生に係る事業推進担当であり、執行機関の指揮命令系統を明確にするため特別職を充てるもの。



予算が繰り越された町道整備事業（犬山寺線）

条例

介護保険条例の一部を改める

「介護保険法施行令及び介護保険の国庫負担金の算定に関する政令の一部を改正する政令」等が公布されたことに伴い、条例の一部を改正。

規則

議会会議規則を改める

議会における欠席の取り扱いに関して、社会情勢などを勘案し、議員が出産の場合の届出について、長島町議会会議規則に追加した。また、「つえ」が必要なかたも、傍聴席への入場ができるよう長島町議会傍聴規則の一部を改正した。

承認

専決処分の承認

平成26年度の長島町一般会計と国民健康保険、国民健康保険診療施設、介護保険、簡易水道の4特別会計の補正予算を、専決処分したことが報告され、承認した。

また、長島町税条例の一部改正と長島町国民健康保険税条例の一部改正を専決処分したことが報告され、承認した。

請願

通所支援事業所新築に関する請願

特定非営利活動法人長島福祉作業所ばんぼこ村理事長 大堂和枝氏から提出された「通所支援サービス事業所新築工事助成に関する請願書」を採択した。

条例

汐見の一部を川床地区から給水

汐見地区の一部に上り浜の給水タンクから給水するため、長島町簡易水道事業給水条例の一部を改正した。

これは、町内7給水区域の内、大字川床と山門野で形成される川床地区簡易水道事業に、「汐見の一部」を加えるもの。



川床地区給水区域となる汐見の一部

条例

教職員住宅条例の一部を改める

教職員住宅の老朽化等に伴い、城内地区の一般教職員住宅1戸、山門野地区の一般教職員住宅1戸、諸浦地区の一般教職員住宅2戸の計4戸を、教職員住宅から用途廃止したため、教職員住宅条例の一部を改正した。



用途廃止となった諸浦地区の一般教職員住宅（手前）

陳情

子どもたちの教育環境改善を

長島町指江の久保省治氏から提出された「教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元をはかるための、2016年度政府予算に係る意見書採択の陳情書」を採択し、同趣旨の意見書を可決した。

総合研究所設置の実現を

長島町川床の中納克徳氏から提出された「電源立地地域（薩摩川内市）に国による総合研究所設立に実現に向けての陳情書」は、国・県の動向を注視する必要があるという理由で、継続審査とした。

九州電力による説明会を

長島町蔵之元の楠元康博氏から提出された「川内原発1・2号機の再稼動に当たって九州電力に説明会を求める」陳情書は、再稼動には結論が出ているという理由で、不採択とした。

公有水面埋立

観音漁港合戦場地区の施設整備に伴う公有水面埋立を実施するため、免許出願意見を求められたので、異議はない旨の意見を可決した。

その他

一般質問

施策を問う

林 義明 議員



新作物（オリーブ）の取り組みは

林議員 バレイシヨの後継作物として、また

荒廃地対策として、新作物でオリーブの試験栽培をしたいとのことであったが、本町での取り組みについてどのように考えているか伺う。

町長 本町が新規作物として導入するには、近隣の栽培地の視察、

情報収集を行うなど、

まだまだ研究する余地があるのではないかと考えている。

林議員 オリーブ栽培地として本町の気温、日照時間はオリーブの産地と同じような状況である。しかし降水量、土壌条件が異なるが、これをどのように判断されるか伺う。

町長 オリーブについて

では、天草が企業とタイアップした試験栽培等を推進しているもので、その様子を見ながら、品種的にも長島に適応した品種があるのかどうか、見極めながら推進体制を確立していきたい。

バレイシヨの10アール当たり収量の増加策は

林議員 畑の境界の防風垣、山林、雑木林等

近くの畑に植栽されている。防風垣等が高齢化、権利調整がつかず伸び放題になり、日陰と日照不足により収量が少ない状況である。この防風垣等の整備に補助事業として対応できないか伺う。

町長 防風垣の所有によって、いろいろな条件があると思われるので、このことについては、大変興味深い提案であるので研究させていただく。

また補助事業に適するものであるかどうか、技術員連絡協議会等で協議してもらい町の政策に取り入れるかどうか判断したい

温州ミカン原木及び県道沿いの島ミカンの管理は

林議員 温州ミカンの原木は、中国からもたらされた柑橘類の中から、温州ミカンが偶然に発生したものである。

温州ミカンの発祥の地を裏付けたのが、江戸時代長崎に滞在していた、ドイツのシーボルトがミカンの葉を押し葉にし、その押し葉

に「長島」と書いてあったことから発祥の地の根拠になっている。

この温州ミカンの発祥の地をもとにマンダリンセンターを建設し、世界マンダリン祭りが開催され、そのときに温州ミカン原木は保存のため整備されたものであるが、現在原木、島ミカンの管理はどのようになっているのか伺う。

町長 町文化財の指定を行い、個人に肥培管

理を委託している。県道沿いの島ミカンに関しては、公園管理の作業班により、植栽ケ所の除草作業を中心に行っている。今後は、肥培管理を徹底し、長島固有の島ミカン育成に努める。

教育長 昭和60年に町の文化財に指定し、個人に管理委託している。教育委員会としては、町の文化財という貴重な記念物の保護に一層配慮していく。



3代目の温州ミカン原木（鷹巣地区）

川上 勇 議員



農業振興の政策を問う

甘藷のすり込み体制は

川上議員 町内唯一の

赤崎澱粉工場の操業休止の話がある。現在作付された甘藷のすり込み計画等対応策を伺う。

三笠の澱粉工場等で対応

町長 今年、澱粉用甘藷として契約された分は三笠の澱粉工場と知

覧の工場に搬入予定。工場までの運賃の負担調整、農家の方々への情報提供等諸々の対策

について先頭に立って対応する。

甘藷作の振興策は

川上議員 長島の芋

は、土壌が粘土質で青果用や焼酎原料としても評判が良く、気象条件にも強いため栽培しやすい。

これまでも長い間、農家の経済を支えてきた作物である。今後、甘藷作の維持、振興策を伺う。

農業所得の補完作物

町長 長島の芋で長島

の水で限定された長島の焼酎が売り物になっ

て最終的には生き残ってくる。焼酎用、加工用の町内産甘藷の利用拡大を関係事業体に強く要望する。

生産農家へも出荷水準とか出荷体制の徹底を呼びかけ、意識改革を図る。

地元甘藷の利用拡大体制が確立し、工場が必要な時に必要な量が提供できるようになれば施設整備を補助等で対応したい。

農業振興指針づくりは

川上議員 現在、地方

創生事業の「長島人口ビジョンと長島総合戦略」づくりがスタートしている。この機会に、農業高齢化対策、集落営農の推進計画等農業の将来像を定めて、農家の皆さんに明るい話題を提供する考えについて伺う。

指針づくりに努める

町長 品目別生産振興

策を活用して生産拡大と農産物のPR活動を行い販路拡大につなげる。

養殖ブリの価格が700円、バレイシヨの価格が150円の価格保証ができればTPPも怖くないと思っている。

農産物の価格保証制度、甘藷の加工場、貯蔵庫整備等地方創生事業と連携をしながら農業プランづくりに努めたい。

鷹巣診療所の整備促進を伺う

川上議員 「他の事業

より鷹巣診療所の新築を優先して欲しい」との町民の強い要望がある。

同僚議員の一般質問で町長は、「平成28年度を建設目標にする」等具体的に答弁されて

いる。①新築に向けての進捗状況は。②町総合振興計画どおり平成28年度に最優先して事業実施することについて伺う。

いる。②築後35年経過し補助金適正化法の処分制限期間が4年残っている。財源、施設の規模、場所、医師の確保等課題がある。

新築の時期は慎重に判断

町長 ①昨年、枕崎と

奄美大島の瀬戸内の病院を視察した。補助金は、国民健康保険調整交付金等の確認をして

町民の皆様、国や関係者、議会と充分協議しながら進める。新築について最大限の努力をするが、時期については慎重に判断したい。



築後35年経過した鷹巣診療所

古田 一博 議員



課設置条例の見直しについて

古田議員 水産商工課

を水産課と商工課に分離し、景観推進課を、新たに設置する商工観光課の中に集約したらどうか、条例の見直しの考えはないか伺う。

町長 行政組織の見直しは、町政施行10周年を迎える本年度の重要な課題である。景観推進課については、観光と一緒にする方がいいのではないかと考えている。

長島町は養殖漁業生産額百億円を超す水産

の町であり、「水産」と「観光・景観」推進

の二本立てで構成する課の設置が理想だと考えている。

まだ、実施前の段階であり、今後前向きに検討する。

歴史民俗資料館の充実について

古田議員 長島町歴史

民俗資料館は、昭和57年4月20日にオープン。それから32年が経過しており、考古・歴史・民俗などの資料収集、保存を行いながら、調査研究して、展示公開している。長島町の

歴史的遺産、中でも失われつつある民俗遺産の保全について、重要な役割を果たしている。

資料館を、もっと充実すべきではないか次の4点を伺う。

①展示品と内部什器を一新し、利用倍増を図るべきではないか。

②歴史・文化などのビデオや模型で学べる施設の充実を図るべきではないか。

③トイレを含む憩いの場の見直しをすべきではないか。

④ふるさと文化財、長島ミニ事典を作成し配布の考えはないか。

町長 歴史民俗資料館を見つめ直すこと、それは町民の皆さんが、日頃から親しみやすく、なじみやすい施設に変えていくことが、

非常に大事だと思っており、全力を挙げて取り組んでいく。

教育長 ①両町合併後

に、資料館の収蔵品と旧東町の資料を含めた中から、古墳や遺跡からの出土品等、目的に沿った資料を分野別に選定して、展示している。

今後、展示室の照明、スペースの見直し、ジオラマ等の改修見積を徴収、補助事業導入を考える。

②これまでの映像をDVDで保存、子ども達だけでなく、町内外の皆さんに来館をしていただき、体験できる機会をつくっていく。

③洋式トイレの導入、衛生的に利用できるような施設管理に努める。トイレの改修については、総額どれくらい掛かるか、

見積を徴収し実行していく。

④文化財に関する資料、合併前2冊あり、

いずれも良くまとめであり、時期をみて合冊できないか、検討する。



築後32年の歴史民俗資料館

浦 弘成 議員



国の空き家対策 特別措置法施行 に伴い、町の空 き家の活用・廃 屋の撤去に関す る条例制定の進 捗状況は

適正管理の条例制定は
浦議員 昨年9月議会
の一般質問では、先進
事例を参考にしながら
研究し条例化を目指す
との答弁であったが、
その後の方針を伺う。

町長 7月に実施され
る県の説明会を受け、
町としては具体的に取
り組む計画である。

空き家・空き地の実態
調査は

浦議員 県内では29市
町村実施しており、老
朽化し放置された空き
家は倒壊のおそれがあ
り、景観・防犯でも問
題が多い。町の調査状
況を伺う。

町長 他の自治体の調
査内容資料を集め、県
からはマニュアル的な
資料も示されているの
で、説明会を受けた後
具体化していく。

危険な廃屋の取り壊し
費用への補助制度は
浦議員 一棟当たり百

万円以上かかることも
ある高額な解体費用に
対して、町民は早急な
助成制度を願っている。
県内8市町では3
分の1（最高30万円ま
で）の助成を実施して
いる。町の方針を伺う。

町長 説明会を受け、
そして実態調査の中で
所有者が解体したいと
いう要望を取りまとめ
て助成制度を検討した
い。

小型無線無人機 ドローンを町で 導入できないか

浦議員 ドローンなら
ではのアンクルを生か
した観光PR用の映像
撮影や、災害地や危険
区域などの調査・測量
などに活用できると思
うが、町で導入する考
えはないか伺う。

町長 災害調査で、九
州地方整備局は導入さ

れている。また観光P
Rにも、観光プロモー
ションを作成するとき
などに活用されている
ところもある。

しかしさまざまな問
題・課題も考えられる
ため、必要な際には専
門業者に委託する方法
か、他の自治体の状況
も調査し研究したい。

また指江庁舎と鷹巣
間の書類等を運ぶ使送
便に活用出来ないか研
究をしたところ、技術
的には可能であるが、
使送便の書類には個人
情報を含んでおり、落
下の可能性がある以上
現段階では使用できな
いのではと考えている。
（※ドローンは英語で、
ハチの羽音が語源と言
われている。）

竹林整備で発生 する竹パウダー の活用は

浦議員 現在町で保有
する樹木破砕機をもう

一台程度購入し、より
多くの利用者に貸し付
けできないか。また竹
を破碎し発生した竹パ
ウダーを肥料用として
活用する目的で、竹林
整備から肥料としての
加工までを、雇用対策
につなげられないか、
町の見解を伺う。

町長 竹林整備を行い
タケノコ生産に取り組
む竹林所有者に、昨年

導入し貸し出しをした
ら、作業効率が図られ
栽培意欲が増したなど
の意見をいただいた。
今年度も県の補助事
業の採択内示があった
ので、次の議会で提案
したい。

竹パウダーの生産に
ついては、雇用による
か特定の人を決めて利
用するか、効果的な方
法を検討したい。



竹を破碎するチップシュレッダー

2つの委員会で議案等審査

2つの常任委員会で議案等を審査
各常任委員会 of 主な審議内容を紹介

総務民生常任委員会 委員長 林 義明

▼総務課関係

問 副町長の職務分担は地方創生だけの監督か、又統括監ではなく副町長でなければならぬ理由は。

答 3百万円は地元負担、建築面積は23・6坪、新築公民館は、集落の財産になるので、維持管理は集落で行う。

答 地方創生の推進、総合戦略など重要課題があり、地方創生の担当として必要である。又、事業はほとんどの課にまたがるため、指揮命令系統をしっかりとさせるため必要である。

問 自治公民館整備等事業費として補助金7百万円計上されているが、事業費と建屋の面積、又公民館の管理は。

答 事業費は全体で1千万円、補助金の残り

▼企画財政課関係

問 ふるさと納税の寄附額、離島活性化交付金事業のうち、戦略産品、海上輸送費補助金の対象品目は。

答 本年度4月1日から、6月15日現在3507件で1862万3千円。

問 海上輸送費補助の対象品目は、ブリ、タイの魚介類、アオサ、柑橘類、イモ類の4品目が対象、又本年度より新たに島へ移入される

▼町民福祉課関係

問 自殺の危険性の高い人を早期発見することとは難しいと思うが、どのような講習を計画しているのか。

答 1日の講習を前期と後期で計2日間。講師には県の精神保健福祉士を予定している。

▼保健衛生課関係

問 塵芥処理費の負担金の減額と過疎対策事業債が減となり、一般財源が増となった理由は。

答 北薩広域行政事務

組合の人事異動に伴う人件費の減額と事業費の負担金が確定により減額、過疎対策事業債については、技術支援業務等が対象でないの一般財源が増額となった。

▼請願

「通所支援サービス事業所新築工事助成に關する請願書」については、障害のある子どもは、町内に児童発達支援施設が無いため、阿久根市の施設等を利用している。又、養護学校に通う子どもが長期休暇になった場合、支援を行ってくれる施設が無く、保護者が働きに出られない状況になる。さらに、保育している建物は建築基準法上、福祉施設としての用途変更は認められないため、事業所を新築したい内容であり、町にとって必要な施設

であるとのことから、採択すべきものと決定した。

▼陳情

「川内原発1・2号機の再稼動に当たって九州電力に説明会を求める陳情書」については、川内原子力発電所1・2号機の運転差し止めを、住民らが求めた仮処分申請で鹿児島地裁は、住民らの訴えを却下する決定をし、再稼動には結論が出て

いるとのことから不採択と決定した。

「電源立地地域（薩摩川内市）に国による総合研究所設立に実現に向けての陳情書」については、原子力立地地域における地域振興に關する研究体制は、自民党の政権公約となっており、国、県の動向を注視する必要があることから、継続審査とした。



通所支援サービス事業所建設予定地

建設経済文教常任委員会 委員長 濱 実男

▼耕地課関係

問 片側地区樹園地モノレール敷設事業は、以前も整備したが、場所と延長は。

答 国の補助事業では更新は難しく、新たに路線を見直し新設する。延長3km、事業費6千万円、工期は3ヶ年を予定。

▼水産商工課関係

問 スタンプラリーは、町主体で実施するのか。

答 職員の意識改革、アイデアを持つ意味で、町主体で実施する。

▼教育総務課関係

問 教職員住宅は、取り壊しをするのか、所管換えるのか。

答 老朽化しており、教職員住宅として需要がないので、所管換えし、町営住宅として活用

用がなければ、空き家改修の補助金を活用し住宅改修を計画。

▼農林課関係

問 経営体育成支援事業の補助率30%とあるが、70%は個人負担か。

答 70%は個人負担であるが、認定農業者でないと申請できない。

▼水道課関係

問 給水区域を町内一円として、まとめて統合すべきでは。

答 最終的には、長島本島を統合する計画である。現在、各地区で補助事業を実施しており、完了するまでは予定していない。

▼景観推進課関係

問 ぐるっと一周緑化対策事業で、事業費が半分になった。秋には国民文化祭等も控えて

いるが、花の苗の経費は足るのか。

答 補助金が減らされたが、育苗しているもので、大丈夫である。その後については、県や関係団体等の意見を聞きながら努力する。

▼建設課関係

問 社会資本整備総合交付金の減額による補正であるが、今年度中の増額補正の見込みはないか。

答 社会資本整備総合交付金について、県に確認したところ、年度内の補正は現時点ではなく、来年度も厳しい状況である。

▼社会教育課関係

問 国民文化祭事業のシャトルバス運行は。

答 造形美術展開催中の土・日・祝日のみ11日間の運行予定で、中

型2台、小型2台のバスを計画。

▼陳情

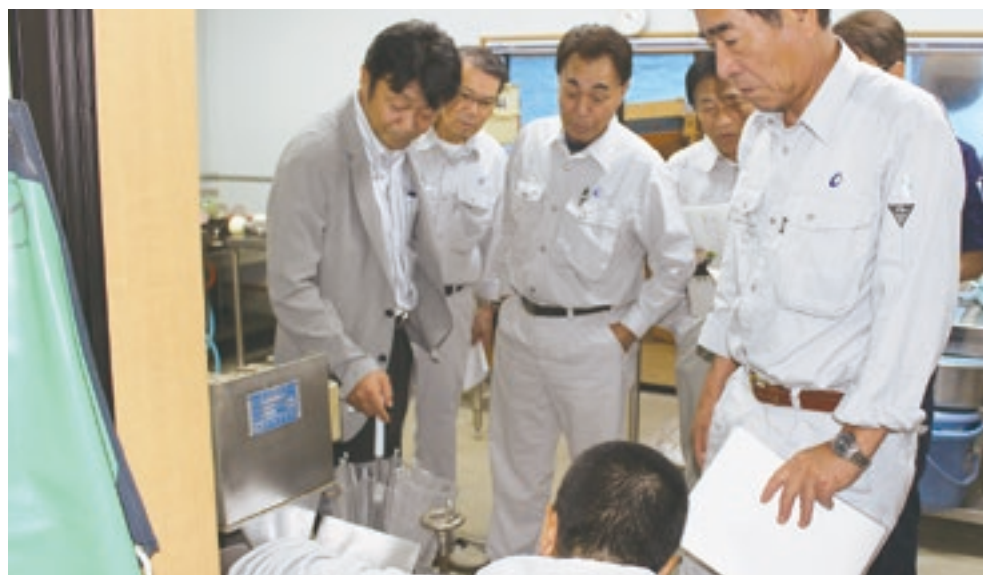
「教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元をはかるための、2016年度政府予算に係る意見書採択の陳情書」については、複式学級の解消は重要な課題であるなど、の意見で採択すべきものと決定した。

「長島町立鷹巣中学校の存続を求める陳情書」、「長島町立中学校の統合に関する陳情書」については、学校統廃合調査特別委員会では今後さらに調査を進め、その議論を見守るべきとの意見が多数で、継続審査とすることに決定した。

▼委員会所見

国・県の交付金等事業については、内示及び収入が確実に見込ま

れるものを予算計上すべき、との意見があった。



水産加工施設で説明を聞く建設経済文教常任委員

オリーブ園と 定住促進策を調査

議会運営委員会
副委員長 川上 勇



長島町議会は、5月20日から22日までの3日間、香川県小豆島と徳島県神山町で議員研修を実施した。

今回の研修目的は、小豆島においては「オリーブの生産・加工・販売」。また神山町においては、「NPO法人で進めている過疎の町再生施策等」についての調査、視察であった。

○小豆島のオリーブ園

オリーブは、当初魚の加工保存のためオリーブ油を使用してい

たが、当時オリーブ油は輸入品で高価なものであった。

明治41年国産化を図るため、国が試験的に香川県（小豆島）、三重県、鹿児島県で栽培。しかしながら、三重県と鹿児島県は台風や虫の被害により失敗。小豆島は成功を収め、現在に至っている。

視察先は「㈱オリーブ園」。オリーブの特性として一本では自家受粉せず実がつかないため、違う品種の栽培が必要とのこと。5月下旬から6月にかけて開花。収穫は9月から12月まで。

栽培条件としては、日照時間が年間2000時間以上必要とされ、日照量が多いほど生育が良いとされる。また、降水量は年間1,000ミリメートル程度を必要とし、年間200ミリメートルの乾

燥地域でも灌水を施せば栽培可能とのことであった。

気温は平均気温14度、16度の温暖地が適だとされているが、比較的低温にも強い作物で、短時間の場合マイナス10度で寒害が発生する程度。

土壌に対する適応性は大きく、埴壤土から砂土と広い範囲の土壌で十分生育する。

しかし、根の土壌通気性要求度が大きいので排水不良な重粘土や地下水位の高い低湿地では生育が極端に不良となる。

耕地が浅い「やせ地」では肥培管理が適切であれば生産量を維持できるが、隔年結果が著しく品質は劣るとのこと。品種は世界で500種以上あるが、小豆島では3品種が一般に栽培されている。

害虫対策としては、「オリーブアナアキゾウムシ」に対し、年3回防除し「ハマキムシ類」に対しては、年2回の防除が必要。現地調査中に「オリーブアナアキゾウムシ」の駆除作業状況が確認できた。病害として「オリーブ炭疽病」に対し、年3回防除が必要とのことであった。

製品は、「食用オリーブオイル」、「果実加工用オイル」、「化粧用オイル」等である。

本町でのオリーブ栽培はできないことはないが、小豆島と比較すれば気象条件、土壌条件が異なる。

毎年安定した生産をするためには、降雨対策、土壌改良等が必要となり、生産コストが高くなると思われるので、振興作物としては慎重に検討すべきである。

○神山町の定住促進

東京一極集中の是正、人口減少対策及び地方経済活性化等を推進するため「まち、ひと、しごと創生法」が昨年11月成立した。

農業、漁業等職場産業の振興と雇用の創出による人口減少対策は本町の大きな課題となっている。

神山町は、人口5393人の中山間地で日本一の「すだち」の産地として有名な町である。

神山町は、町内全域に整備された光回線による高速インターネットを利用することで

「いつでも、どこでも自由に仕事ができる」「新しい働き方ができる町」としてテレビで紹介され、全国から注目を浴びた。

神山町に東京に本社のある会社が、古民家を利用した職場を開設し、社員が常駐してい

た。移住者に対して住民の皆さんが応援し町の活性化へと連動している。

今年二月現在、町内に12社が空き家に職場を構え従業員や家族を含め約140名が移住、30名の雇用を生んでいる。

このように全国から注目された神山町の「町づくり」の背景にはNPO法人の「移住促進事業」による「人材誘致」「外部との連携、外部人材を活用した地域づくり」等、20余年の活動の成果とされている。

本町でも「長島人口ビジョンと長島版総合戦略」作成がスタートしている。議会としても光ファイバーの整備等、このような成功事例を参考として郷土の活性化を目指し、定住促進に取り組むべきとの意見であった。

池田副議長に永年勤続表彰



池田廣副議長

全国町村議会議長会から、町議会議員として27年以上在職し功労のあった者として池田廣副議長が表彰された。

池田副議長は、昭和62年5月1日から通算で約28年間、町議会議員としての功績が認められ、表彰を受けたものである。



井上貴至副町長

井上氏を副町長に

今回の定例会において、「長島町副町長の定数を定める条例の一部を改正する条例について」現在の副町長の定数を1人から2人とするため提案された。

その後、「副町長の選任について」が追加提案され、井上 貴至 長島町鷹巣 井上 貴至 昭和60年10月28日生

今回の定例会において、「長島町副町長の定数を定める条例の一部を改正する条例について」現在の副町長の定数を1人から2人とするため提案された。

9 団体199人と意見交換

その2

平成27年1月に発行した「ながしま議会だより（No36第4回定例会〈H26.12.12～12.24〉）」に掲載した他に、議会に対応が難しい意見・要望等も出された。このような意見・要望等を町長に伝えて回答を求め、その回答とともに今回報告する。

■防災

Q 赤十字での炊き出し訓練を集落ごとに行かないか。（民・児）

A 防災訓練とあわせてできないか研究する。

Q 要支援介護者の避難先は各避難所ではなく、「あかね園」「桃源郷」等の施設にお願いできないか。（民・児）

A 現実的に難しい。福祉避難所の開設は全国でも稀に行われている程度である。開設するに当たっての問題点の拾い出しと問題解消に努める必要がある。

■商工・観光振興

Q イベントを通して交流人口を増やそうとしている中で、観光協会の役割は大きなものがある。薩摩川内・阿久根・出水市は行政と離れた所で観光協会が観光振興を図っている。長島町は水産商工

課に事務局があり、現在の状態で役割を果たしていけるか。事務体制の見直しは考えられないか。（商工会）

A 観光協会会員の高齢化や行政主導の活動のため、組織の主体性が乏しいのが現実で、行政から切り離すことは会員からの同意が得られない。まずは組織の充実に向けた会員の意識改革が必要である。商工会へ事務局を移してもよいが、充実できるか疑問が残る。

Q 観光DVDを放映する施設整備を要望する。（観光）

A 是非、取り組む必要がある。観光案内所（だんだん市場）を核として、町内の集客施設に放映コーナーを設置して来客者へPRしたい。

Q 町予算80万円で重機等使い松ヶ平海水浴場の「ヒラタブンブク」

の駆除をしたが、退治できていないので、対応していただきたい。（観光）

A 生息域周辺の浚渫作業及び人的駆除を徹底していきたい。

Q 松ヶ平海水浴場への進入路が鋭角で観光バスの進入が困難。取り付け道路と海水浴場の下まで道路改良できないか。（観光）

A 現地調査及び用地確認をしたところ、筆界未定箇所もあり縦断勾配が急な事等から工法検討が必要である。また、予算が厳しいことから早急な対応は難しいと思われる。

Q 行人岳の道路改良工事の早期完成と頂上付近の駐車場整備を要望する。（観光）

A 平成27年度完成を目指していたが、補助事業の内示により要求額の約半分となったため、27年度完成は困難

であり、平成28年度完成を目指す。また、頂上付近の駐車場整備については、道路横の空きスペースを利用して整備する予定である。

Q 獅子島への観光客は、年々増加している。展望台や七郎山トイレなど整備されたが、道路が狭い。一周するのに1時間20分かかる。林道のカーブの改良はできないか。（観光）

A 架橋実現に向けた道路の位置づけも必要となる。事業計画を作成し、県への要望を随時行っており、がけ崩れ等の緊急性を要する箇所から改良工事を進めている。

Q サンセットでイベントが開催されても観光客が道の駅を訪れない。サンセット建て替え時に取り付け道路を観光客が道の駅を通るよう変更できないか。（観光）

A 国道からの取り付けとなることと、取り付け場所がカーブ箇所になることから県との協議が必要であり、難しいと思われる。

■農業振興

Q Uターン・イターン者、兼業農家の高齢者対策としてグループ営農が各集落に1つ程度できないか。（農委）

A 国、県の様々な施策はあるが、まずは地域、集落の合意形成と意識醸成であろうと考える。話し合い活動を繰り返し、集落におけるグループ営農への盛り上がり方を期待したい。機運が醸成された集落に対しては、県の行政、普及機関とも連携して積極的に支援していきたい。

Q 農繁期の人手不足解消に、花植えの人たちを回せないか。（認定農）

A 植栽管理に従事していただいている方々は、その業務として町と雇用契約を結んでおり、他の作業（例、農

補助できないか。また、年2回のドックも経営を圧迫している。ドックの補助はできないか。

作業の手伝いや建設現場の補助等）に従事させることはできない。

（北さつま・東漁協）

仮に雇用契約の内容を変更したとしても、町の予算で建設業や農業等の事業者の営利活動に職員（臨時職員含む）を派遣することは不可能である。

A 獅子島地区の燃油補助については、国の漁業経営でセーフティー

A 平成19年度から実施している「めぐり愛ウエディング」・「獅子島アイランドde愛」では15組が成婚し、毎回多数のカップルが成立しているので、継続していく。多くの参加を望む。

ネット構築事業も活用すべきではないかと考える。ドック補助については、国の補助制度を利用して欲しい。原則として維持管理は各自でお願いしたい。

Q 最近近海にサメが多い。サメの駆除に有害鳥獣同様の助成はできないか。（北さつま）

Q 魚価の低迷、資源の減少等で厳しい経営にあり、効果的な魚礁投入事業を実施して欲しい。（東漁協）

■漁業振興

Q 阿久根市は製氷の半額を補助している。長島町ではできないか。

A 雑木を使った魚礁で効果をあげたい。素潜りで効果測定を行いたい。ふるさと創生の雇用対策や産業振興でも研究したい。また、

■教育関係

Q 高校生のバス通学定期料金の半額助成はできないか。

A 町内には高校がなく、他市町村と比較すると通学等に保護者負担が伴う。しかし、それぞれ形態（通学、寮、下宿等）があるため、

Q 田尻地区の避難所となっている小学校体育館は、トイレが和式であり高齢者が苦勞されている。簡易ポータブル式に改修できないか。また床にエアマット等を敷くことは考えられないか。（民・児）

（北さつま・東漁協）

Q 東町漁協青壮年部93名中、半数が未婚者である。花嫁対策を進めて欲しい。（東漁協）

Q 漁船漁業経営者の正組合員が年々減少し、組合の弱体化が深刻化しているため、その対策を講じて欲しい。（東漁協）

A 放流方法として、大きくたってから放流する方法など研究する。また、無給餌養殖の推進で、二枚貝の種苗や海藻（ワカメ・ヒジキ）生産への取り組みを行う。磯焼け等の自然環境の変化対策は、藻場造成、魚礁工事等を行う。

Q 漁船漁業経営者の正組合員が年々減少し、組合の弱体化が深刻化しているため、その対策を講じて欲しい。（東漁協）

Q 田尻地区の避難所となっている小学校体育館は、トイレが和式であり高齢者が苦勞されている。簡易ポータブル式に改修できないか。また床にエアマット等を敷くことは考えられないか。（民・児）

A 質問の内容については、現在計画はない。エンゼル不妊・扶育支援事業で、第一子妊娠に係る制度はあったが、平成27年度から第二子以降の妊娠に係る制度が拡充された。

Q 旧長島町では、朝のラジオ体操の放送があった。現状ではできないか。（民・児）

A 町からの防災行政無線での放送はできないが、平成27年度に整備を終える無線整備後には、集落ごとにコミュニティ無線（集落内の放送）での対応を検討したい。

Q 魚価低迷と燃油高騰により、漁民は大変である。東町漁協単独で1リットル10円の値引きを実施している。町でも

Q 東町漁協青壮年部93名中、半数が未婚者である。花嫁対策を進めて欲しい。（東漁協）

Q 田尻地区の避難所となっている小学校体育館は、トイレが和式であり高齢者が苦勞されている。簡易ポータブル式に改修できないか。また床にエアマット等を敷くことは考えられないか。（民・児）

■医療・福祉・介護

Q 子育て保険（妊婦の流産などに対しての補助は考えられないか。（観光）

Q 旧長島町では、朝のラジオ体操の放送があった。現状ではできないか。（民・児）

委員会協議会／PTA

長島町PTA連絡協議会／商工会

※老連

長島町民生委員・児童委員会協議会／PTA

長島町PTA連絡協議会／商工会

※老連

長島町民生委員・児童委員会協議会／PTA

長島町PTA連絡協議会／商工会

※老連

ま ち の 話 題



39 チームが集結熱戦

合併 10 周年記念、第 10 回自治公民館対抗ゲートボール大会が、6 月 1 日から 5 日まで開催された。

同大会には町内の 25 自治公民館から 39 チームが参加し、3つのランクで予選、決勝大会が行われ、熱戦が繰り広げられた。

各ランクの優勝チームは次のとおり。

- A ランク 福ノ浦チーム
- B ランク 葛輪 A チーム
- C ランク 本浦 B チーム

27 チームが出場し熱戦

合併 10 周年記念、第 10 回自治公民館対抗バレーボール大会が、7 月 6 日から 10 日までの5日間の日程で開催された。

同大会には町内の 24 自治公民館から 27 チームが出場し、2つのパートで予選、決勝大会が行われ、熱戦が繰り広げられた。

各パートの結果は次のとおり。

- A パート 矢堂公民館
- B パート 宮ノ浦公民館



A パート優勝の矢堂公民館チーム

編集後記

昨年からスタートした広報委員 5 名、一年が過ぎ議会の活動等を伝えるために悪戦苦闘しながら、紙面づくりの編集に努めてまいりました。

議会の使命職責は、住民に溶け込み、民意をくみ上げ、もって地域社会の福祉向上を図ることであります。

これからも、身近な課題を反映させ、町民の皆様を読みやすく、関心のある議会だよりにしていきたいと思っています。

町民の皆様、これからも厳しい真夏日が続く日々となります。熱中症など十分気をつけ、水分を多く取りながら、健康管理に努め、元気で過ごしてください。(古田)

【発行責任者】

議長 児島 薩男

【編集】

議会広報特別委員会

委員長 古田 一博
副委員長 浦 弘成
委員 小田 勝志
委員 林 義明
委員 濱 実男

